

三陸の海を放射能から守る
岩手の会 (略称) **三陸の海・岩手の会**
 郵便振替 02240-5-102650
 ホームページ 《再処理/岩手の環境》
<http://sanriku.my.cocacn.jp/>
 《本紙は印刷配布、転載自由。》
 全バックナンバー HPに掲載》



《天恵の海》
 2018(平成 30)年
 10月24日
 第192号
 編集事務局 S.Oshida
 TEL・FAX 019-623-1636

地震で最も危険な原子力施設は六ヶ所再処理工場

渡辺満久東洋大教授 直下活断層指摘



IWJ 岩上安身インタビュー 2018.7.17
 変動地形学者 渡辺満久教授

<https://iwj.co.jp/wj/open/archives/427608>

熊本地震



活断層真上の建物が崩壊

手前の田んぼを走る亀裂は正面奥の新築の建物の下に続く。建物は真ん中あたりから折れ曲がり駐車場の自動車は横倒しになっている。

IWJ原祐介記者インタビュー 2016.6.7

活断層上の被害

活断層上の地割れ発生と建物破壊に注目!
 一昨年の熊本地震は、四月一四日夜のM6.4の地震に続き一六日未明にM7.3の強烈な地震が発生しました。活断層の専門家は日奈久断層と布田川断層は連続した一本の活断層と考えており、それが動いたわけでは

「一昨年の『熊本地震』についてのIWJの取材で、渡辺教授は直下活断層地震被害について述べています。

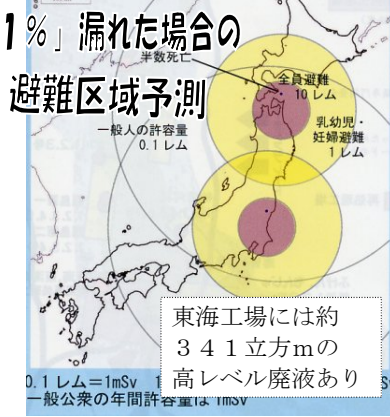
本年七月、渡辺満久教授はIWJ(独立ウェブジャーナル)のインタビュー番組に出演し、「地震で最も危険な原子力施設はどこか?」との質問に「六ヶ所再処理工場です。想定される地震はM8級。私はここでの地震被害は大問題だと、毎年、延々と言い続けてきました」と答えました。熊本地震、大阪北部地震、北海道胆振東部地震は直下型地震で活断層上の建物の被害が深刻でした。渡辺教授のこの指摘を受けとめ私達は、特に再処理工場地下の活断層型地震対策が緊急課題である事を訴え、国の総力を挙げた安全対策の実施を求めます。

最初が余震、二八時間後のものが本震です。最初のもものは活断層の長さから見て小さ過ぎたので引き続き大きな本震が起ると予測出来たはずですが、活断層型地震は、揺れによる被害だけでなく、亀裂による被害」が起きます。事実、活断層の真上或いは直近の建物被害

は、揺れの被害だけでなく、地滑りや地割れで破壊されています。活断層上には、住宅や工場等を建設すべきではありません。
現地調査での写真を公開
 渡辺教授は地震発生とともに三回ほど現地調査を行い、活断層による地表の亀裂被害を写真に納め、公開しました。

高レベル放射性廃液

未処理の廃液223立方メートル



左の図は二面の、署名運動「原発・核燃・フルトニウム利用を止めてください」のための説明チラシからのもので、膨大な放射能を、液体のまま溜めており大地震に耐えられない現状です。

約350立方メートル発生し
 未処理の廃液は約127立方メートル

全量漏れた場合は 想像を絶する災害

六ヶ所再処理工場

2018.4 現在

《六ヶ所工場直下に活断層あり》

発表から 10年



(東奥日報) 2008年5月25日

渡辺満久教授は二〇〇八年に六ヶ所現地地調査を行い日本地球惑星科学連合大会において「六ヶ所核燃施設直下に活断層があり、M8級の大地震もありうる」とする報告を行いました。渡辺教授の警鐘にも拘わらず日本原燃は六ヶ所再処理工場のアクティブ試験を強行しました。

六ヶ所の大地は撓(たわ)んでいる。

現地説明会で渡辺教授は、再処理工場のある台地北側から見た海岸段丘は本来水平であるべきなのに海側が低くたわんでいる。台地は海拔約三〇mの上面が海側になると約一〇mくらいになつていいる。そして台地麓の南側の道路に撓曲地形がみられる、などと、これは地下に「活動的な逆断層がある」事を示していると説明しました。そして左図のような推定図を示し、「この逆断層が動く」とM8級の大地震が起

り得ます」と語りました。

変動地形学とは

渡辺教授は「変動地形学は、地表に現れる地球の変動を読み取る学問」とし、約一二・五万年前は、地球が温暖化から寒冷化へ、数千年かけてUターンした時期。従ってこの時期の海面の高さはあまり変化しなかった。だから波浪によって形成された「海蝕テーブル」は広い。この地形が当時の海面の高さを示す指標(S面)として世界各地に残された。この「S面」と現在の海面を比較し、その地域の地形の隆起や沈降、浸食、堆積などの変動をかなり正確に読み取る事が出来る」と説明しました。

当紙「天恵の海」第五五号に、十年前の現地説明会と盛岡での講演会の記事が載っています。

調査を行い学会で発表
この報告はすぐにマスコミに報道され、岩手の私達がその記事を手にしたのは、二〇〇八年五月、「海に空に放射能を流すな！」とする署名を集め政府や青森県・原燃に届ける活動をしてい

アクティブ試験強行の頃

六ヶ所現地説明会



工場真下に活断層



永田文夫講演録

(小冊子)

【六ヶ所再処理工場の動向と私達の運動】

A4版26ページ
一部200円

◆一〇四部 実費+郵送料
購入申し込み 左記へ住所・氏名・部数を記しハガキでお願いします。

〒02010881 盛岡市天神町三十九 (大信田方)

三陸の海・岩手の会会報事務局 宛

(講演録発送に際して 請求代金を記した郵便振替用紙を同封します)

ガラス固化を急げ！全国署名運動

《原発・核燃・プルトニウム利用を止めて下さい》

掌からも参加しよう！

全国の反核市民団有志が呼びかけ人となり、『ストップ・ザ・もんじゅ』『原子力資料情報室』が集約団体として、核廃絶に向けた署名運動が始まりました。人類と核は共存出来ません。地震大国日本は立場を越えて、溜まり続けている核を減らす方向に一刻も早く方針転換しなければなりません。岩手でも全国とともに取り組みましょう。

第一次集約日 二〇一八年十一月二〇日
第二次集約日 二〇一九年五月一日
岩手県内集約先
〒02010125
盛岡市山岸六丁目三六の八(永田方)
三陸の海・岩手の会 宛

内閣総理大臣安倍晋三様 衆・参議院議長様

- 再稼働止め原発ゼロ、再エネ促進
- 再処理をやめる
- 使用済み燃料と高レベル廃液の「安全保管」
- 「もんじゅ」の安全な廃炉
- プルサーマル中止、プルトニウムゼロへ

署名事務局

〒573-0028 大阪府枚方市川原町 1-5
「ストップ・ザ・もんじゅ」内
TEL/FAX 072-843-1904